

ほんべつ 議会だより

No.92

令和2年2月1日発行



元気に交流 思い出がいっぱい

1月12日～14日 小松島市立江小学校・勇足小学校交流事業

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索

第4回定例会

第4回

定
例
会

水道料金などの改定条例等を可決

令和元年第4回定例会は12月3日に開会し、水道事業給水条例や町立へき地保育所条例の一部改正などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

条例改正

本別町水道事業給水条例の一部改正

・主な条例改正内容

- (1) 令和2年4月分（3月使用分）から料金改定
- (2) 料金を現行の内税方式から外税方式へ
- (3) 家事用は税抜き価格ベースで5～6%程度の料金引き上げ
- (4) 業務用の基本水量は15m³から12m³に改正し、基本料金も引き下げ
- (5) 低所得者世帯の軽減、農業世帯の軽減は産業振興の観点から引き続き継続

答

基本料金のみの世帯で、水道・下水道を合わせて、月額257円、年間3,084円の負担増となります。

本別町立へき地保育所条例の一部改正

仙美里へき地保育所を令和2年3月31日をもつて閉所、また、勇足へき地保育所の入所定員を50名から34名に変更します。

答

回数を増やすなど環境を整備したいです。

問

現在の基金残高が約7億円で、今年と同額の4億円を毎年取り崩すと、2年を経たずに底を突く認識か。



地域の理解で閉所が決定

答

来年以降は取り崩し額と同額を積み戻せるような財政運営を行い、基金が底を突かないよう努めます。

妊婦歯科健診

受診者が増えているが、受診方法や健診の時期の改善は。

答

昨年は、年3回のたまご教室の中で健診を行っていましたが、今年から個別受診とし、母子手帳交付時に周知しています。

補正予算

財政調整基金

今回、1億3,900万円程の積み戻しが計上されたが、さらに積み戻す予定は。

改定による一般家庭への影響額は。

へき地保育所と子ども園の交流は通常行っていますが、今後は月1回のペースで行い、必要であれば

答

へき地保育所と子ども園の交流は通常行っていますが、今後は月1回のペースで行い、必要であれば

和解等の定め

町税の過徴収に起因する和解及び損害賠償額を定めることについて

令和元年6月から行つ

ていた町税収納確認の調査等の結果、過徴収によ

り納税者1名に損害が発生して

いては、当時の職務執行中に発生したことから、

その賠償の責は本別町に任じられるものであり、国家賠償法の規定に基づき、和解し損害賠償額を定めるものです。

過徴収金5万円に遅延利息を付けて返金するという内容か。

答

そのとおりです。

本件に、反対者の討論..梅村議員
繊細な議案を提案するには専門家等と十二分な打ち合わせをして議場に臨むべき。再提案を。

賛成者の討論..阿保議員
町民に与えた損害を町の責任において直ちに支払うことは、何ら異議はない。

採決の結果
賛成者10人、反対者1人で原案可決されました。

第4回臨時会

開催日 11月29日

条例の一部改正

問

増額される財源の確保は。

年間を通じた財政運営の中で行つります。

答

年間を通じた財政運営の中で行つります。

本件に、反対者の討論..梅村議員

町財政の現状にも目を向け、身を切る改革等が重要。

人事院の給与の勧告に伴い、民間給与との格差0.09%を埋めるため、大卒初任給を1,500円、高卒初任給を2,000円引き上げ、30歳代半ばまでの職員の給与額を改定して、全体で平均0.1%引き上げる改定を行います。

また、勤勉手当を0.5ヶ月引き上げ、年間の支給月数を4.45ヶ月から4.5ヶ月とします。

賛成者の討論..阿保議員

改定によつてなお一層町民の皆さんに仕事や対応で返していくことを期待する。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

採決の結果

賛成者10人、反対者1人で原案可決されました。

地方自治法の改正により、現在の定数外職員を令和2年4月1日からフルタイム又はパートタイム

令和元年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(1億1,797万5千円) 75億772万1千円	人事院勧告及び人事異動等による人件費の増(臨時会) 前年度繰越金の確定、基金の積立等による増(定例会)
特別会計	国民健康保険 (△219万4千円) 11億8,956万5千円	事業費確定による減(定例会)
	後期高齢者医療 (△170万1千円) 1億3,163万3千円	広域連合への負担金確定による減(定例会)
	介護保険事業 (△101万1千円) 10億1,863万6千円	国庫補助金の確定、事業執行見込みによる減(定例会)
	介護サービス事業 (144万6千円) 2億9,804万6千円	前年度繰越金の確定、備品購入による増(定例会)
	簡易水道 (△48万8千円) 1億2,596万4千円	事業費確定による減(定例会)
公共下水道	(△128万9千円) 5億1,149万3千円	人事異動による人件費の減(臨時会) 前年度繰越金の確定、消費税還付による増(定例会)
水道事業会計	(△241万1千円) 2億7,278万4千円	事業費確定による減(定例会)
病院事業会計	(695万9千円) 13億6,946万2千円	人事院勧告及び人事異動等による人件費の増(臨時会) 事業執行見込みによる減(定例会)

※第4回臨時会含む(11月29日開催)

答

今現在224名の定数外職員がおり、各課とヒアリングをしながら採用を進めています。

会計年度任用職員として採用し、一定の手当や期末手当を支給し、適正な任用の確保等を図ります。

答

定数外職員の現状と人数のスリム化の考えは。

「選挙管理委員」
小林 信雄 氏
(北2丁目)
山下 孔三 氏
(南2丁目)
天池 二郎 氏
(木札内)
齊藤 一成 氏
(チエトイ2)

「選挙管理委員補充員」
矢野 邦夫 氏
(勇足元町)
太田 則幸 氏
(美里別東中)
細野真由美 氏
(北1丁目)
河合 篤史 氏
(弥生町)

以上の方に「決定」しました。(任期令和5年12月22日まで)

一般質問

7人の議員から10問



篠原義彦議員

**今年の農業生産を踏まえ今後に向けた施策は
答 農業関係機関と一緒に実施・
検討を進めます**



水谷令子議員

外国人労働者と共に生するまちづくりへ
**答 外国人介護人材確保の協議・検討を進め
ます**

農業

**今年の農業生産を踏まえ今後に向けた施策は
答 農業関係機関と一緒に施設の実施・**



答　外国人労働者と共生するまちづくりへ
ます　外国人介護人材確保の協議・検討を進め

外国人技能実習生とは…

日本の企業などで技術・技能を身に付けるために日本に来ている外国人。期間は最長5年とされ、技能等の修得を目指す。本町には、中国・ミャンマー・タイなどからの実習生が滞在している。



ものしり博士から

更なる安定を目指して、町長の考え方を伺います。

①地籍調査の早期実施による基盤整備の計画は、

②労働力の軽減と確保に向けて。③高額な機械施設投資に対する対策は、④バイオマスの早期実施について。



新しくなったコントラ事務所（美里別東下）

③機械、施設の投資に国の補助事業を積極的に活用します。④バイオマスプラントの整備に向けた再確認と設立や運営方法など協議を進めていかなければならぬと考えます。

水谷議員 本別町においても、**外国人技能実習生** が38名滞在しています。外国人労働力が必要不可欠になっています。町として、共生するまちづくりを進めるべきと考えます。

①国際交流事業を実施し、多様な交流や体験を通して地域との接点が生まれ、町民にも国際交流の場になると考えます。これからも、優れた人材に来てもらうために、選ばれるまちづくりをする必要があると考えますが、見解を伺います。②本別町においても、介護職の人材確保が重要な課題になっています。介護体験

外国人
介護人
材の確
保のあ
り方の
協議・
検討を
進めま
す。



英語力向上のための異文化交流事業（本別高校）

セミナーが行われていますが、東川町での取り組みが注目される中、外国人人材を受け入れていく考えは。



暮らし

民法改正に伴い公営住宅の保証人廃止を

答 新たに極度額を設け従来通り2人の保証人で



藤田直美議員

高橋町長

①公営住宅の入居に際して、保証人の取り扱いは自治体の判断に委ねられることとなり、本町は新たに極

度額（保証人の支払義務の限度額）を設け、従来通り2人の保証人を立てていただきま

す。②社会福祉協議会で実施している生前・死後の事務委

託契約、安心お預かりサービス事業の制度利用を認めてい

ます。③連帯保証人の廃止検

討は5市町村ですが、本町は

廃止をしない方向で進めます。

④経年劣化の判断や負担区分

についても現状に合った検証

をしていきます。

②現制度は「利用は1回」と規定されていますが、本制度の継続とともに、利用回数の制限も検討すべきでは。

住民生活の安定を



住宅リフォーム助成、制度の改善、継続は

答 継続は未定。2期目が終了した時点で検討したい



阿保静夫議員

阿保議員 住宅リフォーム助成制度の改善、継続について伺います。

①現行の助成交付要綱では住宅の所有者、または借主でかつ居住していることが条件です。所有者が町外で、その家族が居住しているなどの事例があるが、助成の適用となりません。安心して住み続けられる住まいづくりなどの観点から条件の見直しや緩和を行うべきと考えますが見解を伺います。

②現制度は「利用は1回」と規定されていますが、本制度の継続とともに、利用回数の制限も検討すべきでは。

高橋町長 ①諸事情で所有者ではなく家族が居住している場合もあると考えますが、2期目終了の令和2年度までは現行通り進めます。

②継続は未定です。2期目が終了した時点で条件緩和も含め検討したいと考えます。



安心して住み続けるために

もりもり博士

人事院勧告とは…

人事院が国家公務員の給与や待遇の改善を政府などに求める制度。給与勧告は民間準拠を基本に官民格差による6年連続増額改定。本別町も人事院の勧告に伴い改定を行っています。



町ホームページで紹介動画配信中

①休日は駐車場にまで行列ができるが、緊急故障対応が不十分で、人材育成・体制整備等が必要である。特

た現況にあり、これを活かさない手はない。

①複数の職員での故障対応ができるよう進めます。職員の貢献度などを含めて評価の中にカウントできるようにしていきたいです。

②ご提案の企業広告をいただくなど有効な方法だと思います。少しでも有効な手段ができるように努めます。

③歳入削減と歳入増加施策をどのように考えているのか伺います。

高橋町長 ①歳入に見合つた

①複数の職員での故障対応ができるよう進めます。職員の貢献度などを含めて評価の中にカウントできるようにしていきたいです。

②補助金・負担金の検討部会でどのような議論がなされ反映されているのか伺います。



共栄の24時間トイレ



梅村智秀議員

答 **ゴーカートで突き抜けろ! 本別名物交通公園企業広告をいただく提案も含め十分に検討します**

殊な技術、職業能力を持つている職員をしつかり評価することは、**人事院勧告**で給料等を一律上げていくことより、やる気につながります。

②ふるさと納税等で「ゴーカート」の車体や、コースの周り、受付小屋に企業広告を設置し、その施工を町内業者に頼むと、商工業の発展にもつながるのでは。

柏崎議員 令和2年度の予算編成において、各種事務事業及び補助金・負担金のあり方について、抜本的な見直しを行ない、持続可能なまちづくりを進めていくためにどのような考え方で臨むのか伺います。

②補助金は42件、負担金は22件を対象として見直しを図っています。

③各担当課で関係機関・団体・町民の方の意見を聴取しながら予算に反映していくことが、一番重要なことがあります。



柏崎秀行議員

答 **予算編成・事務事業の見直しの考えは持続可能で安定した財政運営に努めます**

歳出の原則のもと、持続可能で安定した財政運営に努める考えを全体で確認しました。

事務事業の見直しは24事業を対象に、新年度予算に反映させるよう指示したところで



観

光



行

政

不祥事と非常時におけるトップとしての対応は 答 度重なる不祥事発生に深くお詫びします



大住啓一議員



止まらないミス 対策を

大住議員 本町の不祥事は、平成28年6月定例会において、私の一般質問から税金収納において横領事件が発覚しました。今定例会の議員協議会において「町税収納調査」及び「公用車の車検切れ」が報告されました。更に「ふるさと納税の手続きミス」、「農業者

年金の手続き不手際」等々の事件について、町民の皆さんへの説明が不十分であること。税の徴収については、横領事件の額も含めて、約420万円になると報告があり、昨年の胆振東部地震の災害対策本部設置の遅れや、誘致企業（製糖工場）に対する町民支援の考え方を伺います。

高橋町長 冒頭に、度重なる不祥事の発生につきまして大変重く受け止め、深くお詫びを申し上げます。町民への説明ですが、年金に関する不手際、公用車の車検切れについては、町広報に掲載します。

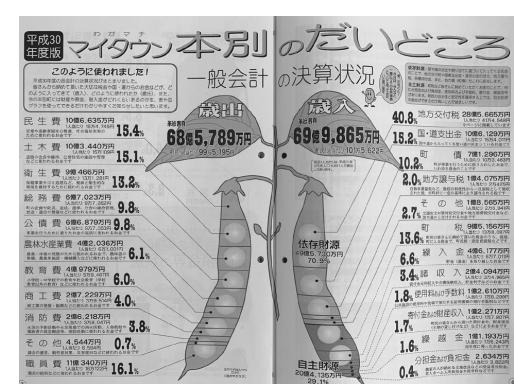
税の横領事件に関しては、容解明後にお知らせします。胆振東部地震時は、長時間の停電により、人命にも影響する通信手段が不通となり、災害対策本部に切り替えました。誘致企業とは連携を密にして対応しています。

高橋町長 ①現段階での給料削減を実施する考えはありません。定数外職員は、勤務形態を柔軟に検討するよう指示しました。

②使用料は、住民ニーズを見極めながら見直しの検討を進めます。補助金は、効果や

現状を鑑みたとき、60億円前半が妥当と思うが。

④令和2年度の予算規模は、



成果を検証し、抜本的な見直しを図ります。

④これまでと同様の基金に依存した予算編成は困難であることから、65億円程度とした予算編成が必要と考えます。

財政健全化のための行政改革の進め方は 答 給料の独自削減は考えていません。経費の見直しに努めます

大住議員 本町の財政状況は財政調整基金残高が約7億円となり非常に厳しい状況にあります。

①特別職・一般職の給料、定数外職員の賃金等、人件費の抑制を行うべきと思うが、見解を伺います。

②使用料の見直しと、補助金の抜本的な見直しの考えは。

③使っていない町有地の処分と利用していない施設の維持・管理方法を徹底的に見直すべきと思うが。

④令和2年度の予算規模は、

現状を鑑みたとき、60億円前半が妥当と思うが。

④これまでと同様の基金に依存した予算編成は困難であることから、65億円程度とした予算編成が必要と考えます。

ものしづ博士が

本別町情報公開条例とは…

前文に、「町政の諸活動について説明する責任を果たす」、「公開性を高め、町づくりに町民の参加を促進することなどが謳われている。

町民または町内法人等は、公文書の公開を町に請求することができる。

町政丸ごと見せて魅せる！諸会議の積極公開

答 ルールを作ることができれば大いに発信していきたい

高橋町長

(1) 情報公開条例

町政に重要な諸会議において、動画や音声、会議資料等の積極公開することにより、町民による町政への理解と関心が高まる。

①審議会等が多くあるが、町民がその存在や目的、役割を十分に把握するのは容易ではなく、ごく一部のみがホームページ等で公開され不十分である。

②動画や音声による会議の公開は目や耳の不自由な方への優しさへつながるが、現在の実態について、福祉で町づくり宣言をしている首長としてお答えを。

③これだけ不祥事が続いている中で、例えば自身の言葉を動画や音声配信して、より町民に理解を求め、信頼を高める気持ちはないのか。



せっかくの議論、会議の積極公開を



ふるさと納税、リピーターを大切に

**3月の定例会は
3日開会、10日一般
質問・ナイター議会を
予定しています**

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

募集 町民の皆さんと議長との対話室を行っています。お申し込み、お問い合わせは議会事務局まで御連絡ください。

クラウドファンディングの具体化は重要

答 ワーキンググループで事業実施の協議を行っています

阿保議員 ふるさと納税で本別応援団づくりの推進について伺います。

①特にリピーター（繰り返しの寄付者）に対し、一層つながりを深めるための具体的取り組み（イベントや御所宿泊、農業体験など）が大切と考えますが見解を伺います。

②心でつながるふるさと納税事業としてクラウドファンディングは寄付者には一つの誇りになるものと思います。クラウドファンディングの具体化は重要だと考えますが見解は。

高橋町長 ①複数回の寄付を頂いている方への対応は大切だと考えます。イベントや宿泊施設、旬な特産品の情報などを届けることについて、新年度から開始できるよう準備を進めています。

②役場内でワーキンググループを設置し、クラウドファンディング事業の実施に向けた協議を行っています。本別公園の魅力アップ・充実との意見が多く出されています。

提出者 方川 一郎	新たな過疎対策法の 制定に関する意見書	【要旨掲載】
過疎地域は豊かな自然や歴史・文化を有する心くるさとの地域であり、多面的・公益的機能は国民共有の財産である。安心安全に暮らせる地域として健全に維持されるよう、引き続き総合的な過疎対策を充実強化せることが必要である。現行の過疎対策法は令和3年3月末をもつて失効することから、新たな法制定を強く要望する。		

第4回定例会では1件の意見書が提出され、原案のとおり可決されました。可決された意見書は、衆議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。



議会改革・活性化の取り組みとして、賛否の分かれた議案の表決の公表をしています。

議員名及び議決結果		水谷 令子	柏崎 秀行	梅村 智秀	石山 憲司	篠原 義彦	大住 啓一	山西 三三夫	黒山 久男	方川 一郎	阿保 静夫	藤田 直美	高橋 利勝	議決結果
議決日及び議案名														
定例会 3/22	平成31年度本別町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	可決
定例会 6/19	スクールバス利用距離要件見直しについての請願	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×		不採択
定例会 6/19	「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 9/19	令和元年度本別町一般会計補正予算（第7回）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 9/19	令和元年度本別町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3回）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 9/20	日米貿易交渉大枠合意の撤回と国会批准は行わないことを求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
臨時会 11/29	職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 12/3	平成30年度本別町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
定例会 12/3	平成30年度本別町国民健康保険病院事業会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
定例会 12/11	町税の過徴収に起因する和解及び損害賠償額を定めること	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

【賛否の欄】 ○：賛成、 ×：反対 ※議長は採決には加わりません

写真で見る議員活動

11/20

老人ホームで窓拭きボランティア

12/19

道の駅で意見交換

平成31年 議会 傍聴者数

会議名及び開催日	男	女	計	会議名及び開催数	男	女	計
第1回定例会(3/5~3/22)	34	16	50	議会運営委員会 (18回)	11	2	13
(内ナイター議会3/12)	(29)	(10)	(39)	総務常任委員会 (12回)	3	1	4
第2回定例会(6/10~6/19)	15	18	33	産業厚生常任委員会 (8回)	6	2	8
第3回定例会(9/10~9/20)	30	20	50	広報広聴常任委員会 (19回)	0	0	0
第4回定例会(12/3~12/11)	7	9	16	小計	20	5	25
小計	86	63	149	予算審査特別委員会 (3回)	1	3	4
第1回臨時会(1/30)	0	0	0	決算審査特別委員会 (3回)	0	0	0
第2回臨時会(4/25)	0	0	0	本別町国保病院の運営に関する調査特別委員会 (1回)	0	0	0
第3回臨時会(8/7)	0	0	0	議員協議会 (17回)	0	0	0
第4回臨時会(11/29)	0	0	0	町民懇談会 (7会場)	48	23	71
小計	0	0	0	小計	49	26	75
				合計	155	94	249

所管事務調査

委員会レポート

総務

委員会

本別の事故発生状況と交通安全活動について
調査日／令和元年11月7日

(1) 交通安全の活動概要

①本別町交通安全推進委員会が母体となり、合計38団体で構成されています。

②各種団体による期別運動（4期40日）として交通安全キャンペーン及び街頭啓発、指導員による登校時の街頭指導、各小学校や町の行事での交通指導を行っています。

護者が中心となつて、集合訓練を実施しています。

②死亡事故発生状況（平成23年以降）
23年以降、9件の交通事故が発生しています。事故後の対応については約1週間

本別警察署、道路管理者、役場住民課担当で協議し道路診断を必ず実施しています。

交通事故多発路線
気をつけよう



後に、本別警察署、道路管理者、役場住民課担当で協議し道路診断を必ず実施しています。

ランブルストリップスや減速帯の設置、交通安全標識等の設置、赤色回転灯を3箇所に設置するなど必要な対策を行っています。

(3)まとめ

交通安全対策については、町民の交通安全に対する意識の向上、特に、保育園、学校、職場等での取り組みが必要です。事故のない安全なまちづくりに努めなければならぬと考えます。

車両等の取得、更新、廃棄について

調査日／令和元年11月7日

(1) 公用車の管理等について

公用車両は、役場全体で112台所管しており、建設水道課で49台を所管しています。

管理については車両担当と車両センターで連携して行つております。定期的な点検、適時オイル交換、タイヤ交換等を行つています。

(2) 車両・機械等の取得・廃

23年以降、9件の交通事故が発生しています。事故後の対応については約1週間

取得や廃棄については、購入は随意契約による町内業者を中心とした見積合

わせて行われています。使

用不能、修理不能のものは

廃棄し、町内業者（古物商）

による処分を行つています。

契約は、目的を明確にし、疑念のもたれない契約であるべきと考えます。

日常においては、有資格職員が走行距離や走行時間で適時点検を行い安全運行に努めています。

(2) ホームページ

町広報は町の情報発信および町の歴史を記録する身近な資料です。議会だよりも読まれる紙面を目指し、引き続き努力します。

(3)まとめ

ムページの活用について
調査日／令和元年11月1日

広報広聴

調査日／令和元年11月1日

(1) 町広報紙の編集方針と手順

①広報企画委員会は15人の職員で毎月末に開催。翌々月発行の広報本別、かけはしの掲載記事や取材依頼を受け、3人の担当で記事作成、構成、写真撮影等を行つ

ています。

②広報ほんべつ、かけは

し、共に3,760部発行

しています。特集記事は年

2本程度掲載しており、レ

イアウト作成などで2～3

カ月かけて作成しています。

分かり易い表現、ライブ感

を心掛けています。

③事前の情報収集や締め切りぎりぎりまでの取材を行つています。

更新の遅延、外国語対応などが課題と捉えています。

(3)まとめ

広報広聴

調査日／令和元年10月8日～10日

(1) 川場村の概要

群馬県の北部に位置し、人口3,271人、高齢化率40.8%。一般会計予算

が約30億7千万円で、基幹産業は、農業（果樹類、米など）と観光の村です。

(2) 村づくりの4つのキー

①農業・プラス観光・昭和40年代の人口減少対策として農業に観光を加えた政策を開拓し、拠点整備を進めました。

②都市交流事業・昭和56年東京都世田谷区と「区民健康村相互協力協定」に調印し、「移動教室」では、世田谷区の小学生が参加しています。

③木材コンビナート事業・地元森林組合などが、廃材や間伐材・低品質材を利用してチップ材を製造し、バ

行政視察調査

庄葉園地元委員会

行政視察

道の駅を核とした村づくり／群馬県川場村
調査日／令和元年10月8日～10日

町広報、情報発信と歴史を記録

てあります。

②広報ほんべつ、かけは

し、共に3,760部発行

しています。特集記事は年

2本程度掲載しており、レ

イアウト作成などで2～3

カ月かけて作成しています。

分かり易い表現、ライブ感

を心掛けています。

③事前の情報収集や締め

切りぎりぎりまでの取材を行つています。

更新の遅延、外国語対応などが課題と捉えています。

(3)まとめ

町広報は町の情報発信お

よび町の歴史を記録する身

近な資料です。議会だよりも読まれる紙面を目指し、引き続き努力します。

広報広聴

調査日／令和元年10月8日～10日

(1) 川場村の概要

群馬県の北部に位置し、人口3,271人、高齢化率40.8%。一般会計予算

が約30億7千万円で、基幹産業は、農業（果樹類、米など）と観光の村です。

(2) 村づくりの4つのキー

①農業・プラス観光・昭和40年代の人口減少対策として農業に観光を加えた政策を開拓し、拠点整備を進めました。

②都市交流事業・昭和56年東京都世田谷区と「区民健康村相互協力協定」に調印し、「移動教室」では、世田谷区の小学生が参加しています。

③木材コンビナート事業・地元森林組合などが、廃材や間伐材・低品質材を利用してチップ材を製造し、バ



自分も手を上げて
聞きたくない

松山守雄さん(新町)

12月の定例会において、一般質問を初めて傍聴された新町の松山守雄さんにお話を伺いました。松山さんは勤められた株式会社明治本別工場を退職し、今は民生委員・児童委員、行政相談委員など様々な役職に就かれ、町に貢献されています。議会の傍聴は、予算審査特別委員会で何度も運ばれており、「資料が多く、時間がタイミングが合わず、今まで実現しましたが、今

「大切と感じる質問がたくさんあつた」「的確に内容を捉えた中で質問を投げかけ、答弁者も含めてお互い勉強している」と感じ、「自分も傍聴席から手を上げて聞きたい」と笑顔で話されていました。ある松山さんは、きらめきタウンフェスティバルの実行委員として長年携わり、「素晴らしいイベントを絶やさないでほしい」との想いも話され、町のふるさと納税の返礼品（乳製品）の取り扱いにも、OBとしてお力添えをいただきました。

また「若い職員には失敗を恐れずにどんどん町を改革していくってほしい」「他の良いところを取り入れて」「人口減について真剣に考えるべき」と貴重な御意見をいただきました。趣味は麻雀やカラオケ、特にカラオケは「小さい頃から歌が好きだった」と笑顔で語られ、今度聞かせていただきたいと思いました。今回、松山さんとお話をさせていただき本別町に対する「愛」を強く感じ、これからも様々な分野で御意見下さることを願いインタビューを終えました。

議会日誌

[11月中旬、下旬]

- 15日 議会運営委員会
- 20日 議員ボランティア活動（窓拭き）
- 21日 議員協議会、産業厚生常任委員会
- 28日 議会運営委員会
- 29日 第4回臨時会、広報広聴常任委員会

[12月]

- 3日 第4回定期会開会、議員協議会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 6日 議会運営委員会
- 10日 第4回定期会（一般質問）、議員会役員会
- 11日 第4回定期会（議案審議）、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 23日 本別町国保病院の運営に関する調査特別委員会
- 24日 広報広聴常任委員会

[1月]

- 14日 広報広聴常任委員会
- 17日 広報広聴常任委員会、議会運営委員会
- 31日 第1回臨時会

国保病院の運営に関する調査特別委員会の設置について

12月定期会において、町民の生命を守る病院を存続させるため、運営・経営の健全化に向けた特別委員会を設置し、今後調査を進めます。

委員長 藤田直美 副委員長 大住啓一

議会報告会|議員が伺います 町民懇談会

~自治会、団体等を募集します!~

次の日程で町民懇談会を予定しています。

- 4/20 (月) [18:30~] 新町集会場、向陽町ふれあい交流館
- 4/22 (水) [18:30~] 仙美里地区公民館
[19:00~] 美里別地区公民館
- 4/23 (木) [18:30~] 勇足地区公民館、健康管理センター
- 4/24 (金) 懇談会を希望される自治会、団体などに伺わせていただきたいと考えていますので、議会事務局まで御連絡ください。(電話22-8123)

※希望される自治会、団体等が多い場合は、調整させていただきます。

※日程が確定しましたら、新聞折込（3月）やホームページなどでお知らせします。



資源を大切に――

ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。

募集

本別町議会広報広聴常任委員との懇談会を開催します。希望される団体等は議会事務局まで御連絡ください。